

自動走行システム・システム実用化WG（第13回）議事要旨

1. 日 時 平成26年12月24日（水）10:00～12:00

2. 場 所 合同庁舎8号館623会議室

3. 出席者：

(主査) 稲垣 敏之 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 研究科長
(副主査) 葛巻 清吾 トヨタ自動車株式会社 CSTO 補佐

内村 孝彦 ITS Japan 理事 自動運転プロジェクトリーダー
鶴浦 清純 株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター 主任研究員
金光 寛幸 トヨタ自動車株式会社 第1電子開発部 主査
柴田 英司 富士重工業株式会社 PGM (先進安全) シニアプロジェクトマネージャー
白土 良太 日産自動車株式会社 モビリティ・サービス研究所 主任研究員
前川 誠 日本電気株式会社 パブリック・システムユニットエグゼクティブエキスパート
山本 康典 マツダ株式会社 技術研究所 人間機械システム研究 研究長

楠 正憲 内閣官房 情報通信技術総合戦略室 政府 CIO 補佐官
市川 類 内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官 (代理：内藤博道)
加藤 伸宏 警察庁 長官官房 参事官
森下 信 総務省 総合通信基盤局 新世代移動通信システム推進室 室長 (代理：上野喬大)
吉田 健一郎 経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術 ITS 推進室 室長
山本 巧 国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 室長
久保田 秀暢 国土交通省 自動車局 技術企画室 室長

(自動走行システム推進委員会)

渡邊 浩之 議長・プログラムディレクター
天野 肇 ITS Japan 専務理事
岩貞 るみこ 自動車ジャーナリスト
片原 尚俊 富士通株式会社 シニアエキスパート
川本 雅之 トヨタ自動車技術統括部 主査
清水 和夫 自動車ジャーナリスト
関口 守 富士通工業株式会社技術本部電子商品設計部 主幹
永井 正夫 日本自動車研究所 所長

(事務局) 田沼知行 内閣府 科学技術・イノベーション担当 企画官
山本剛司 内閣府 科学技術・イノベーション担当

4. 議題

1. 研究開発の進め方について
 - ① 信号情報の活用による運転支援の高度化
 - ② 電波を活用した安全運転支援システム(DSSS)の高度化
 - ③ 交通規制情報の活用による運転支援の高度化
2. 地図構造化TF、ダイナミックマップSWGの進捗について
3. 各施策担当窓口について
4. メディアミーティング・国際会議について
5. SIP自動化レベル定義について

5. 配付資料

資料13-1-1	研究開発計画抜粋	
資料13-1-2	信号情報の活用による運転支援の高度化	【非公開】
資料13-1-3	電波を活用した安全運転支援システム(DSSS)の高度化	【非公開】
資料13-1-4	交通規制情報の活用による運転支援の高度化	【非公開】
資料13-2-1	地図構造化タスクフォース進捗報告と提案	【非公開】
資料13-2-2	地図FSの進め方概要	【非公開】
資料13-2-3	地図FS工程表	【非公開】
資料13-2-4	地図FS対象エリア	【非公開】
資料13-2-5	ユースケースと必要な地図情報	【非公開】
資料13-3	各施策担当窓口	【非公開】
資料13-4-1	メディアミーティングの結果と今後の進め方	【非公開】
資料13-4-2	第2回メディアミーティング企画案	【非公開】
資料13-4-3	第3回メディアミーティング企画案	【非公開】
資料13-4-4	第2回国際会議企画について	【非公開】
資料13-5	研究開発計画図表1・図表2の改訂案	【非公開】
参考資料1	システム実用化WG(第12回)議事要旨案	

6. 議事要旨

1. 研究開発の進め方について

- 資料13-1-1・2・3に基づき警察庁加藤参事官より、資料13-1-4に基づき警察庁交通局交通規制課より説明があった。

3. 各施策担当窓口について

- 資料13-3に基づき、葛巻副主査より説明があった。

4. メディアミーティング・国際会議について

- 資料13-4-1～4に基づき ITS Japan 天野専務理事より説明があった。

5. SIP自動化レベル定義について

- 資料13-5に基づき、稲垣主査より説明があり、詳細な議論は次回実施することとした。

以上